

薬剤師のための 漢方薬草入門講座 ～「寒」「熱」シリーズ～ 「熱」について

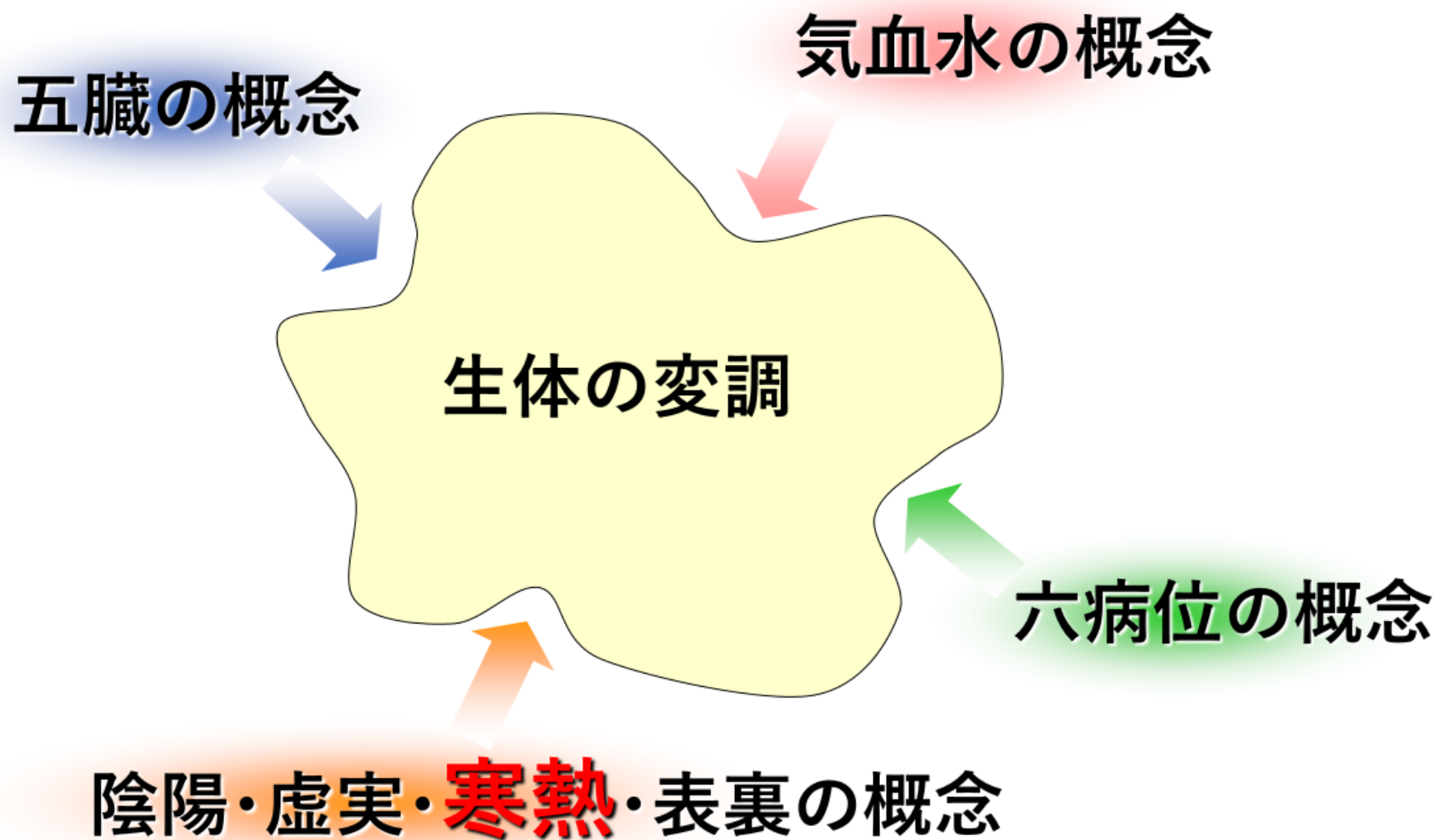
2026年7月22日

はやし病院 薬剤師 新村 赴人

本日の内容

- 漢方の基礎理論：
「寒」「熱」について
- 「熱」の異常に用いる生薬、漢方

病態認識の種々相



寒

熱

寒熱は体温のような絶対的なものではなく、
患者が寒気や冷えを感じれば「寒証」、
熱っぽく感じれば「熱証」
といい、疾病の性質を示す。

寒熱の考え方



寒証

乾燥傾向で蒼白

温かい物を好む
湿潤傾向の舌

泡沫水様性（白色）

下痢軟便，頻尿傾向

顔面

口腔

喀痰
鼻汁

大小便

熱証

のぼせ

口苦感，ねばる，口渴
冷たい物を好む
黄色舌苔

粘稠性（着色）

便秘傾向（着色尿）



“寒証の治療”と“熱証の治療”

寒証

の患者さんには？

代謝を亢進し末梢循環を改善する

温める薬（温熱薬）を用いる

附子・乾姜・桂枝（**人参湯**、牛車腎気丸）

熱証

の患者さんには？

異常亢進した代謝を抑制し、
解熱消炎する

冷やす薬（清熱薬）を用いる

黄連・黄芩・石膏（**黄連解毒湯**、白虎加人参湯）

基本病態に対する8方剤と構成生薬

基本病態	基本方剤	構成生薬
気虚	四君子湯	人参、白朮、茯苓、甘草
気逆	苓桂朮甘湯	茯苓、桂枝、白朮、甘草
気鬱	半夏厚朴湯	半夏、厚朴、生姜、茯苓、蘇葉
瘀血	桂枝茯苓丸	桂枝、茯苓、牡丹皮、桃仁、芍薬
血虚	四物湯	地黄、当帰、芍薬、川芎
水湿（水滯）	五苓散	白朮、茯苓、沢瀉、猪苓、（桂枝）
裏寒 寒	人参湯	人参、乾姜、甘草、白朮
実熱 熱	黄連解毒湯	黄連、黄芩、黄柏、山梔子

「熱証」とはどのような病態なのか？

- ・ 漢方では、熱の概念を「発熱」と「熱証」とに分ける。
- ・ 発熱があっても感染症の初期で悪風・悪寒があれば、熱証ではなく寒証と判断してむしろ温めて体温を上げ発汗させて治す。

急性熱性疾患の経過

熱が出る時期（陽病期） 元気がなくなる時期（陰病期）

感染症初期

寒けや
頭痛

かぜの
ひきはじめ

食欲が
なくなる

こじれた
かぜ

高熱が
出る

悪性の
インフル
エンザ

下痢して
体が
冷える

消化器の
働きが低下

すぐ疲れ
横になり
たがる

ぐったり
した状態

重篤な
状態

肺炎など
の重篤な
疾患

温めて発汗
して治す

太陽病

少陽病

陽明病

太陰病

少陰病

厥陰病

「熱証」とはどのような病態なのか？

- **「熱証」には必ずしも発熱を伴わない。また炎症を起こしやすい体質を認識する。また自律神経や脳の興奮による充血性の炎症も「熱証」として捉える。**

熱証について

①**熱証**とは、いわゆる“**炎症**”を意味する病態。

②炎症類似症候

1) 精神的興奮から生じる充血性の症状

イライラ、顔面紅潮、目の充血、不眠など

2) 物質的消耗にもとづく異化亢進症状（虚熱）

火照りや熱感など（脱水、代謝亢進、自律神経失調）

③熱証を治する方剤を清熱剤という

■寒証、熱証の分類



冷えなどを伴う症状



熱感などを伴う症状



陽気には体を温める作用が、陰液には体を冷やす作用があるため、陽気の不足は寒証の、陰液の不足は熱証の原因となり得る。

「実熱」とは？

- **熱状が顕著で、一般に感染症による全身性の熱病、および局所の炎症を指す。**
- **発赤、充血、腫脹、灼熱感、疼痛等の炎症症状が激しく、化膿し、熱産生亢進による発汗などで体内の水分が喪失し、口や舌は乾燥し舌苔は乾いて黄色を帯び口臭も強い。**

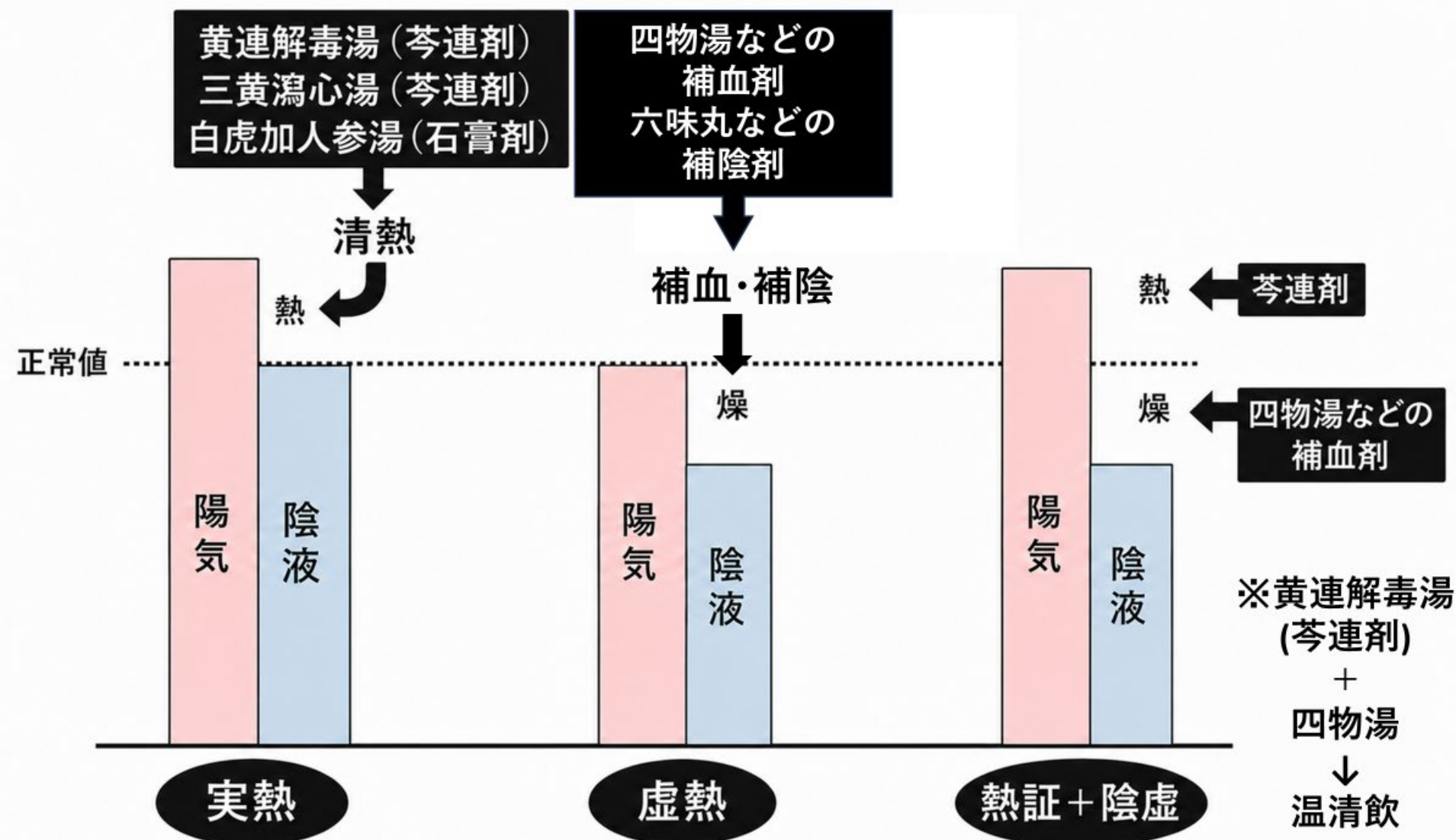
「実熱」とは？

- ・ 尿は色濃く量は少なく、大便是硬く秘結することが多い。精神的興奮も含む。
- ・ 実熱に対する基本方剤として、黄連解毒湯、白虎加人参湯がある。

「虚熱」とは？

- ・ 陰虚、すなわち物質や陰液(体内水分)の不足による熱と考える。発熱、充血、腫脹、疼痛などの炎症症状が著明でなくても、反復して再発を繰り返し慢性に経過して治らない。重要なのは体質的内因であり、ことに陰虚の者は少しの外因でも炎症を起こしやすく、慢性化しやすい。新陳代謝が高く痩せ型で多く食べても太らない。

「実熱」と「虚熱」の関係図

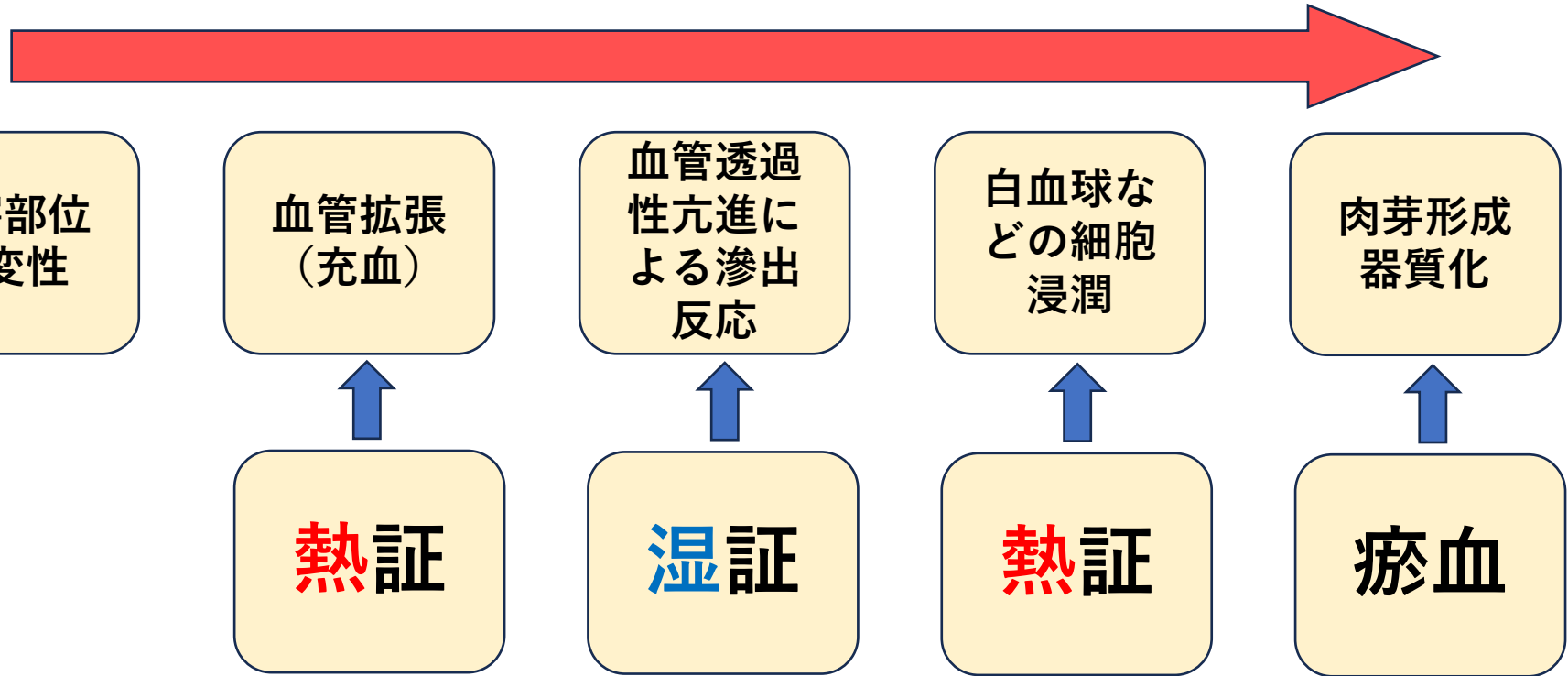


熱証の分類

実熱と虚熱に分けて判断する

実熱	病態	急性炎症、感染症や物理的な障害による(外因)
	症状	発赤、熱感、腫脹、疼痛
	病態	精神的興奮(内因)
	症状	イライラ、不眠、頭痛、眼充血、顔面紅潮
虚熱	病態	物質的消耗にもとづく異化作用の亢進
	症状	火照り、熱感(五心煩熱、朝冷暮熱、咽乾口渴)

炎症の病理と漢方医学的病態



炎症に用いる漢方処方

炎症に対する漢方治療

病理		生薬	病態	方剂
充血性炎症		黄連・黄芩 ・山梔子	熱	黄連解毒湯 三黄瀉心湯
滲 出 性 炎 症	漿液性炎症	麻黄・石膏	熱 + 湿	越婢加朮湯 麻杏甘石湯
	化膿性炎症	金銀花・連翹 石膏	熱毒	十味敗毒湯
	出血性炎症	生地黄・牡丹皮	血熱	温清飲
増 殖 性 炎 症	繁殖性炎症 肉芽増殖性 炎症	生地黄・牡丹皮 + 桃仁・紅花・蘇木	瘀血	桂枝茯苓丸 通導散

熱証に用いる生薬：清熱薬



黄連



黄芩



石膏

オウ　　レン 黄　　連

【性味】　　苦、寒。

【薬能】　　清熱、燥湿、瀉火解毒、止瀉、止血。

清熱をして、炎症を治す。古来より、苦味健胃、消炎、止血、瀉下血熱による精神不安や煩悶などの要薬として用いられてきた。

【配合処方】 温清飲、黄連阿膠湯、黄連解毒湯、黄連湯、荊芥連翹湯、三黄瀉心湯、半夏瀉心湯など。

その根が珠を「**連ねた**」
ようで、断面が鮮やかな
「**黄色**」であることから
その名がついた。

(李時珍)



(*Coptis chinensis* Franchet)

黃連

黃連 (Coptidis Rhizoma)

■基原

キンポウゲ科(Ranunculaceae)のオウレン
(*Coptis japonica* Makino)、*C. chinensis*
Franchet (味連)、*C. deltoidea* C. Y. Cheng et
Hsiao (雅連) または *C. teeta* Wall.
(*Ranunculaceae*) (雲連) の根をほとんど除いた
根茎



オウレン



根をほとんど
除いた根茎

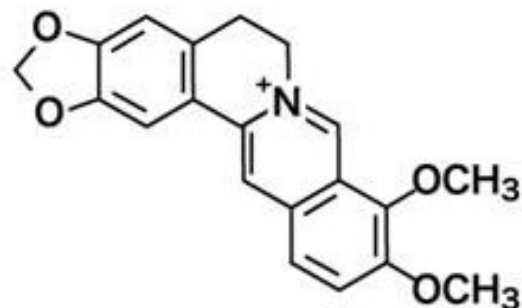
■藥能

・清熱薬(熱感を伴う症状を改善)

■适应症状

・炎症、下痢、腹痛、精神不安、出血など

■主要成分



ベルベリン

(藥理作用:止瀉、抗炎症、血壓降下、肝障害改善、中枢抑制、鎮痙、抗菌)

■ 処方

・黄連湯、温清飲、半夏瀉心湯、黄連解毒湯、三黄瀉心湯など

黄連

現代における運用のポイント

①止瀉作用

炎症性の下痢に用いる

②健胃・消炎作用

胃腸炎・胃潰瘍などの胃腸系の炎症を治し、併せて炎症性の下痢に用いる。また、胃部の炎症に由来する嘔吐・口内炎も治す。

黄連

現代における運用のポイント

③血熱を治す作用

瘀血性の各種炎症性疾患（痔・結膜炎・吐血・鼻出血・中耳炎など）を治す。

④精神安定作用

血熱および胃部の炎症が原因として起こる精神不安・不眠・煩悶感・意識混濁などを治す。

オウ 黄

ゴン 芩

【性味】 苦、寒。

【薬能】 清熱、燥湿、瀉火解毒、止瀉、止血、安胎。

清熱をして、少陽病期の発熱に解熱作用を発揮する。湿熱を除き、解毒することで下痢を止める。出血を止める。子宮を調え、安胎を図る。

【配合処方】 黄芩湯、黄連解毒湯、葛根黄連黄芩湯、柴胡桂枝湯、小柴胡湯、柴朴湯、柴苓湯、三黄瀉心湯、半夏瀉心湯、防風通聖散など。

「黄芩」の花は青紫色。
根の内部が濃い黄色をしているのでコガネバナ
（「黄金」花）と呼ばれ、
日本での栽培記録は徳川吉宗
の時代からといわれる。



黄芩

黄芩 (Scutellariae Radix)

■基原

シソ科(Labiatae)のコガネバナ
(*Scutellaria baicalensis* Georgi)
の周皮を除いた根



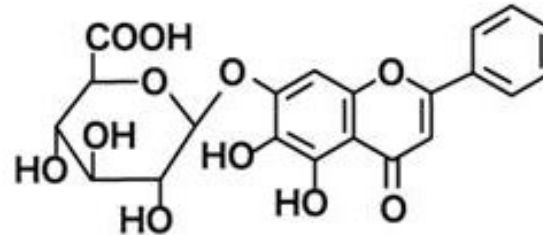
※周皮:植物の茎や根の
表皮下に形成される
組織の総称

薬用部位

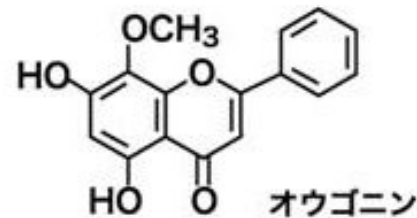


周皮®を除いた根

■主要成分



バイカルイン(薬理作用:抗炎症、プロスタグランジン産生抑制、肝線維化抑制、抗アレルギー、利胆、抗ウイルス、抗腫瘍、解毒)



■薬能

・清熱薬(熱感を伴う症状を改善)

■適応症状

・胃炎、腸炎などの炎症、充血、下痢、腹痛など

■処方

・小柴胡湯、大柴胡湯、三黄瀉心湯、半夏瀉心湯、清肺湯など
・炎症部位に応じて生薬の組み合わせを変える

黄芩

現代における運用のポイント

①清熱作用

胃腸・肝臓・肺の炎症を治し、少陽病の発熱に対し解熱作用を発揮する。

②止瀉作用

胃腸における湿熱性の下痢に有効である。

黄芩

現代における運用のポイント

③安胎作用

妊婦の流産防止に用いる。特に、炎症や発熱を伴うものに有効である。

④止血作用

発熱を伴う出血性疾患（鼻出血・吐血・血便・子宮出血）に有効である

熱証に用いる生薬：黄連

- 黄連＋黄芩：

湿熱による胃部の脹りと膨満感・口苦・嘔吐・不眠・頭痛・高血圧・黄疸を治す（**黄連解毒湯**）

湿熱（しつねつ）：体に余分な“湿（しめり）”と“熱”がたまっている状態

熱証に用いる生薬：黄連

- 黄連＋山梔子：

熱のために生じる充血・出血などの血の変調（目の充血、鼻出血、咯血、吐血、血尿）を治す。併せて煩躁・不眠を治す。

（黄連解毒湯）

黄連と黄柏について

- 黄連・黄柏ともに主成分はアルカロイド、ベルベリンであるが、互いに代用できるなどとは到底考えられない。黄柏に含まれる粘液質などが主成分以上の働きをするのではないかと私は経験的に考えている。漢方生薬の有効成分とは、香り、色、味を含めて、科学的に分析しきれない微量な成分が、実は大きな薬能を持っているということである。

「傷寒論の謎 二味の薬徴」(田畑 隆一郎)より

セツ 石

コウ 膏

【性味】 辛甘、寒。

【薬能】 清熱瀉火、鎮咳・治喘。

身体を冷やし解熱し、煩渴を鎮め炎症や湿疹を治す。
肺の炎症を鎮め、咳嗽や喘鳴を止める。

【配合処方】 駆風解毒湯、消風散、釣藤散、白虎加人參湯、麻杏甘石湯など。

「膏」は本来「白い肉、脂の
のった肉」を指し、そこから
「半練り状の薬(軟膏)」と
いう意味が生じた。

外用に^{しょうせつこう}焼石膏の粉を練った
状態から「石膏」の名が
生じたともいわれる。



石膏

現代における運用のポイント

①清熱作用

石膏の清熱作用は諸薬の中でも最も強く、陽明病および温病の高熱に用い、解熱をはかり煩渴を止め、意識混迷を治す。また、日射病・熱射病による高熱・煩渴・頭痛を治す。

石膏

現代における運用のポイント

②鎮咳・治喘作用

肺部の炎症による喘咳に対し、炎症を鎮め喘咳を治す。

③発疹を治す作用

熱性の班疹・発疹およびアトピー性皮膚炎に用い、皮膚の炎症を鎮め、皮膚を滋潤する

熱証に用いる生薬：石膏

- ・石膏＋知母：

高熱による胸部煩悶感・煩躁・口渇、
アトピー・じんましんなどの皮膚炎を治す
（**白虎加人参湯**）

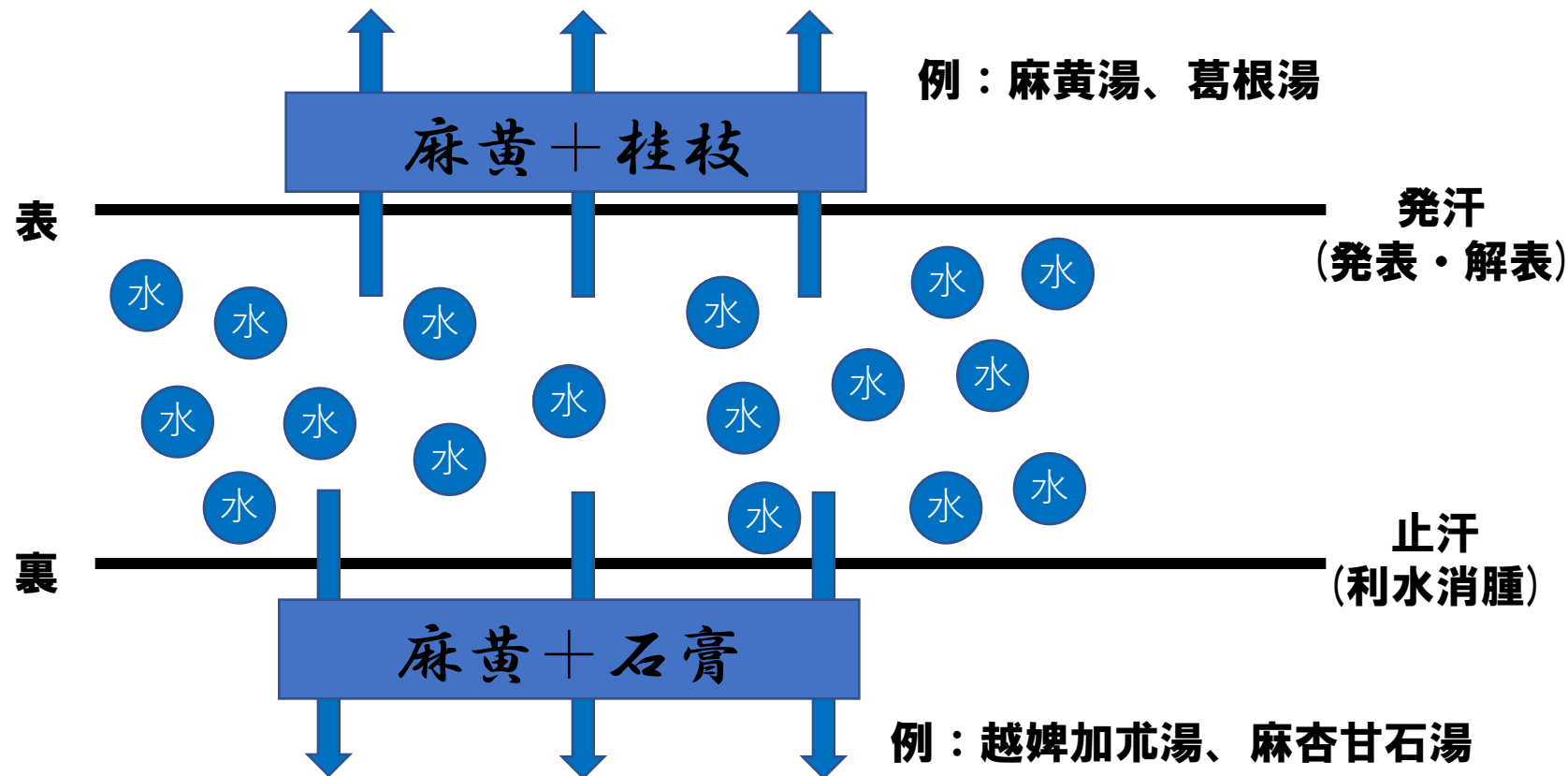
熱証に用いる生薬：石膏

- 石膏＋麻黄：

1) 熱性疾患による高熱・熱感・口渴・
煩躁、肺の炎症による咳嗽・呼吸促拍・
喘咳を治す（**麻杏甘石湯**）

2) 筋肉関節の消炎鎮痛をはかる
（**越婢加朮湯**）

麻黄・桂枝と麻黄・石膏の働きの違い



- ※麻黄 + 桂枝 → 発汗
- ※麻黄 + 石膏 → 止汗・利水消腫
- ※麻黄 + 杏仁 → 鎮咳・去痰

清熱剤について

黄連・黄芩
を含む処方

①**黄連解毒湯**

(黄連 + 黄芩)

②**三黄瀉心湯**

(黄連 + 黄芩)

石膏
を含む処方

③**白虎加人參湯**

(石膏 + 知母)

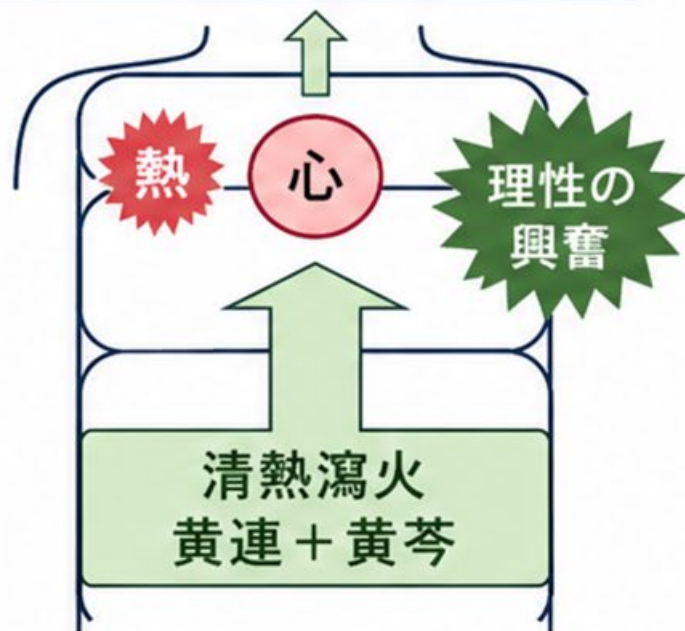
④**越婢加朮湯**

(石膏 + 麻黄)

黄連・黄芩剤、石膏剤による清熱

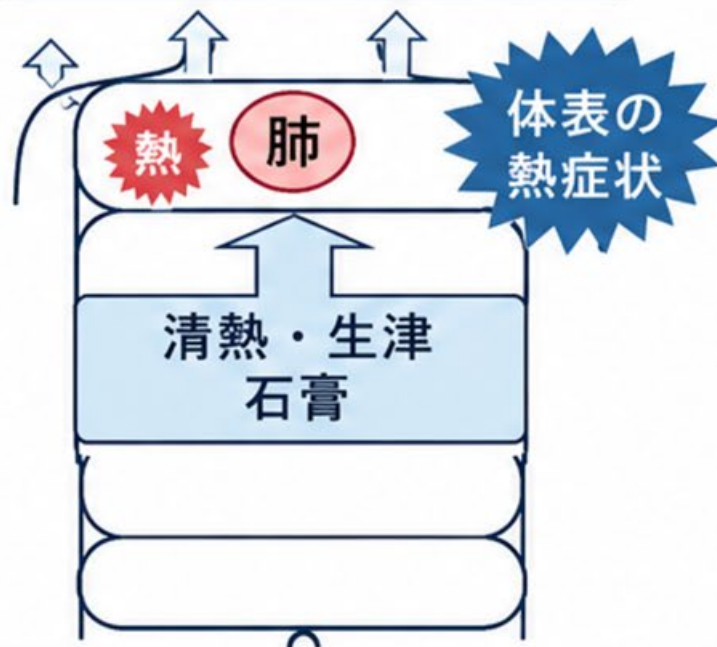
芩連剤

気逆（上焦の熱証）
ほてり、のぼせのある赤ら顔
イライラ、上半身の炎症
心悸亢進ぎみで興奮



石膏剤

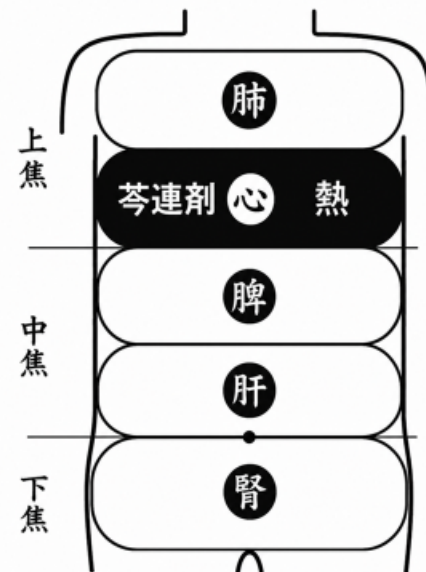
陽明熱証
口渇、多飲、ほてり
発汗、皮膚の炎症
高熱、発汗



清熱剤：その①

黄連解毒湯について

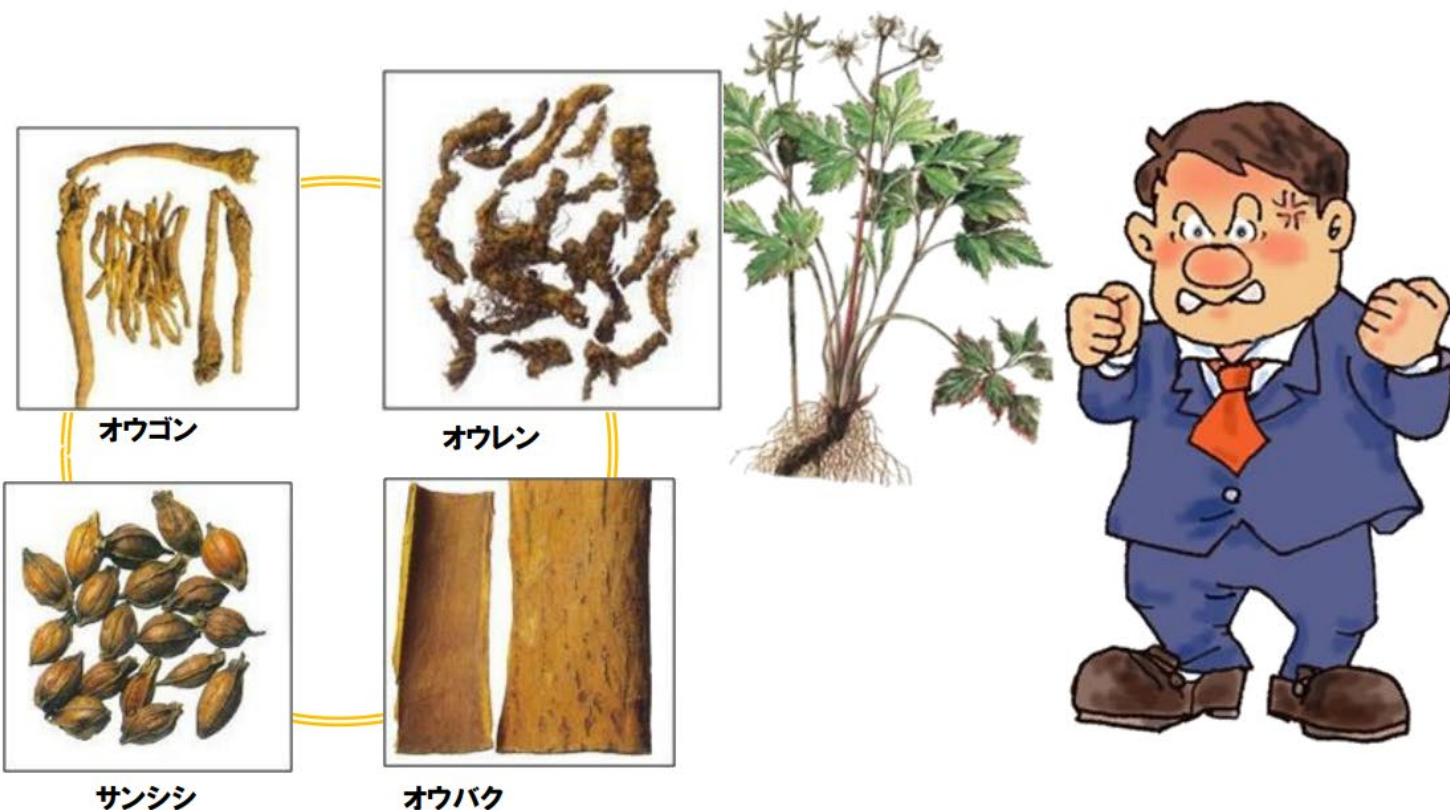
（黄連＋黄芩）



五臓の熱と適応処方群

「黄連解毒湯」名称の由来

本方は、4種類の生薬からなり黄連を主薬とし、
熱による毒症状（熱毒）を本方の消炎解熱作用により
解毒するという意味で名付けられた。



オウレンゲドクトウ 黄連解毒湯の構成生薬



黄芩(オウゴン)



黄連(オウレン)



山梔子(サンシシ)



黄柏(オウバク)

黄連解毒湯の構成生薬

【構成生薬】

黄連・黄ごん・黄柏・山梔子

黄連
山梔子

……抗炎症作用、鎮静作用、止血作用

黄芩
黄柏

……抗炎症作用



オウ レン ゲ ドク トウ

ツムラ黄連解毒湯

エキス顆粒(医療用)

薬価基準収載

2018年 2月改訂

〔TJ-15〕

出典:外台秘要方

組 成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.5gを含有する。

日局オウゴン	3.0g
日局オウレン	2.0g
日局サンシシ	2.0g
日局オウバク	1.5g

効能又は効果

比較的体力があり、のぼせぎみで顔色赤く、いらいらする傾向のある次の諸症：
鼻出血、高血圧、不眠症、ノイローゼ、
胃炎、二日酔、血の道症、めまい、動悸、
湿疹・皮膚炎、皮膚癢痒症

用法及び用量

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

使用上の注意(抜粋)

重大な副作用

- 1) 間質性肺炎
- 2) 肝機能障害、黄疸
- 3) 腸間膜静脈硬化症

黄芩

山梔子

*その他の使用上の注意等は最新の添付文書をご覧ください。



オウ レン ゲ ドク トウ

ツムラ黄連解毒湯

エキス顆粒(医療用) (薬価基準収載)

TJ-15
2018年2月改訂

使用上の注意

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

著しく体力の衰えている患者 [副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。]

2. 重要な基本的注意

- (1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2) サンシシ含有製剤の長期投与(多くは5年以上)により、大腸の色調異常、浮腫、びらん、潰瘍、狭窄を伴う腸間膜静脈硬化症があらわれるおそれがある。長期投与する場合にあつては、定期的にCT、大腸内視鏡等の検査を行うことが望ましい。
- (3) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

(1) 重大な副作用

- 1) 間質性肺炎: 発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常(捻髪音)等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。また、発熱、咳嗽、呼吸困難等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。
- 2) 肝機能障害、黄疸: AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-P、 γ -GTPの著しい上昇を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。



ツムラ黄連解毒湯

エキス顆粒(医療用)

(薬価基準収載)

TJ-15
2018年2月改訂

使用上の注意

(1) 重大な副作用

3) 腸間膜静脈硬化症: 長期投与により、腸間膜静脈硬化症があらわれることがある。腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれた場合、又は便潜血陽性になった場合には投与を中止し、CT、大腸内視鏡等の検査を実施するとともに、適切な処置を行うこと。なお、腸管切除術に至った症例も報告されている。

(2) その他の副作用

	頻度不明
過敏症*	発疹、蕁麻疹等
消化器	食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等

*このような症状があらわれた場合には 投与を中止すること

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]



ツムラ黄連解毒湯

エキス顆粒(医療用)

(薬価基準収載)

TJ-15
2018年2月改訂

薬効薬理

1. 循環系に対する作用(ラット)¹⁾
2. 胃粘膜障害に対する作用(ラット)²⁾³⁾
3. 抗炎症作用(ラット、マウス)⁴⁾⁵⁾
4. 作用機序
血小板凝集抑制作用(*in vitro*)⁶⁾

【主要文献】

- 1)小暮久也ほか. Pharma Medica. 1988, 6(suppl.2), p.33.
- 2)尾辻和彦ほか. 和漢医薬学会誌. 1992, 9(2), p.101.
- 3)小林 隆ほか. 和漢医薬学会誌. 1993, 10(3), p.222.
- 4)Wang, L. M. et al. J. Pharm. Pharmacol. 1996, 48(3), p.327.
- 5)Mizukawa, H. et al. Am. J. Chin. Med. 1993, 21(1), p.71.
- 6)楊 麗波ほか. 臨牀と研究. 1992, 69(9), p.3005.

※効能又は効果、用法及び用量、使用上の注意等は製品添付文書をご覧ください。

黄連解毒湯の使用目標

体力中等度もしくはそれ以上の人で、のぼせ気味で顔面紅潮し、精神不安、不眠、イライラなどの精神神経症状を訴える場合に用いる。

- 1) 心窩部の膨満感を訴える場合。
- 2) 咯血、吐血、下血などの出血を伴う場合。

監修:大塚恭男、花輪壽彦



【オウゴン】



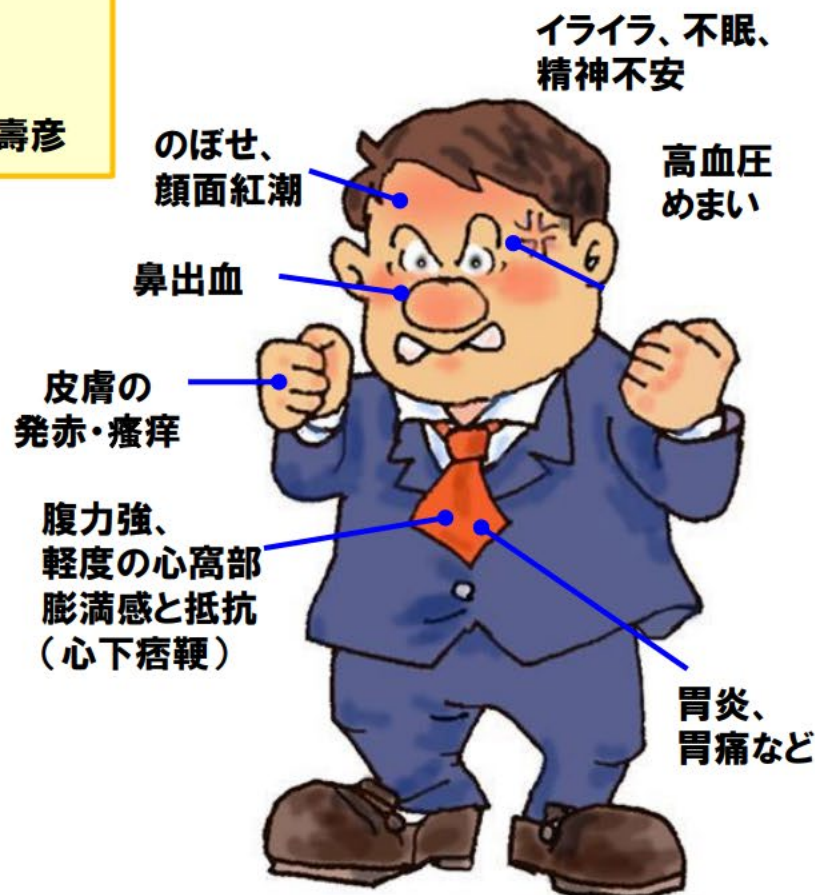
【オウレン】



【サンシ】



【オウバク】



黄連解毒湯 処方のポイント

- ・さまざまな疾患に応用されるが、およそ炎症と出血を抑える処方と考えるとよい
- ・二日酔いに効果的なことが多い
- ・皮膚疾患に使われるときには、赤く熱を持っているかジクジクとして、場合によっては膿が出ている。また痒みがある場合も多いが乾燥した皮膚疾患にはあまり使わない

黄連解毒湯の燥湿作用

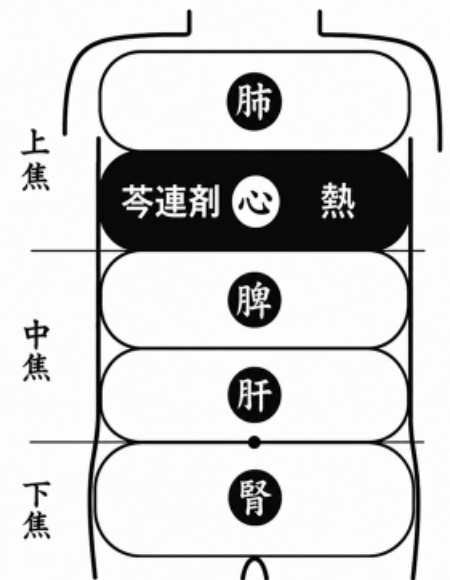
黄連解毒湯 処方のポイント

- **出血性の場合は冷やして飲んだ方が良い**
- **配合生薬の「黄連」に止血作用があるため女性の生理周期が止まることもある**

清熱剤：その②

三黄瀉心湯について

（黄連＋黄芩）

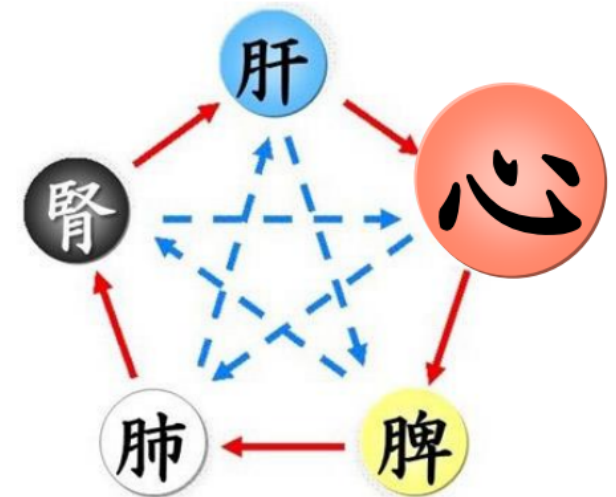


五臓の熱と適応処方群

「三黄瀉心湯」名称の由来

本方は、^{オウゴン}黄芩、^{オウレン}黄連、^{ダイオウ}大黄という黄の字のつく3種類の生薬から構成されていることから^{サンオウ}三黄という。

^{シャシン}瀉心とはこの処方働きのことで、^{シン}心と^イ胃の^カ火が亢進している状態を取り除くという意味で、消化管の炎症を押さえる、精神的興奮・頭痛・のぼせを鎮静化する、発熱に対する解熱、嘔吐・吐血・下痢・下血等の出血を止血するといったことを意味している。



サンオウシャシントウ
三黄瀉心湯の構成生薬



黄芩(オウゴン)



黄連(オウレン)



大黄(ダイオウ)

三黄瀉心湯の構成生薬

【構成生薬】

黄連・黄芩・大黄

黄連
黄芩
大黄

……清熱により炎症や興奮を鎮める

大黄

……瀉下により便秘を改善する



サン オウ シャ シン トウ
ツムラ三黄瀉心湯
エキス顆粒(医療用) (薬価基準収載)

2011年2月改訂

[TJ-113]

出典:金匱要略

組 成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス1.75gを含有する。

日局オウゴン.....3.0g
日局オウレン.....3.0g
日局ダイオウ.....3.0g

用法及び用量

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

効能又は効果

比較的体力があり、のぼせ気味で、顔面紅潮し、精神不安で、便秘の傾向のあるものの次の諸症：
高血圧の随伴症状(のぼせ、肩こり、耳なり、頭重、不眠、不安)、鼻血、痔出血、便秘、更年期障害、血の道症

使用上の注意(抜粋)

重大な副作用

- 1) 間質性肺炎
- 2) 肝機能障害、黄疸

黄芩

*その他の使用上の注意等は最新の添付文書をご覧ください。



サン オウ シャ シン トウ
ツムラ三黄瀉心湯
エキス顆粒(医療用) (薬価基準収載)

TJ-113
2011年2月改訂

使用上の注意

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 下痢、軟便のある患者 [これらの症状が悪化するおそれがある。]
- (2) 著しく胃腸の虚弱な患者 [食欲不振、腹痛、下痢等があらわれることがある。]
- (3) 著しく体力の衰えている患者 [副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。]

大黃

2. 重要な基本的注意

- (1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ダイオウを含む製剤との併用には、特に注意すること。
- (3) ダイオウの瀉下作用には個人差が認められるので、用法及び用量に注意すること。



サン オウ シャ シン トウ
ツムラ三黄瀉心湯
エキス顆粒(医療用) (薬価基準収載)

TJ-113
2011年2月改訂

使用上の注意

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

(1) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。

[本剤に含まれるダイオウの子宮収縮作用及び骨盤内臓器の充血作用により流早産の危険性がある。]

(2) 授乳中の婦人には慎重に投与すること。[本剤に含まれるダイオウ中のアントラキノン誘導体が母乳中に移行し、乳児の下痢を起こすことがある。]

大黃

6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]

薬効薬理

作用機序

1. 血圧降下作用(*in vitro*)¹⁾
2. 中枢神経系に対する作用(*in vitro*)²⁾

【主要文献】

1) 竹村晴夫. 漢方医学. 2000, 24(6), p.265.

2) Nakahata, N. et al. 和漢医薬学雑誌. 1998, 15(2), p.116.

※効能又は効果、用法及び用量、使用上の注意等は製品添付文書をご覧ください。

三黄瀉心湯の使用目標

体格・体力ともに充実した人が、のぼせ気味で顔面紅潮し、便秘を訴える場合に用いる。

- 1) 気分がいらいらして落ちつかず、精神不安や不眠を訴える場合。
- 2) 心窩部の膨満感を訴える場合。
- 3) 鼻出血、下血などのある場合。ただし、出血が長びいて貧血の著しい場合には用いない。

監修:大塚恭男、花輪壽彦



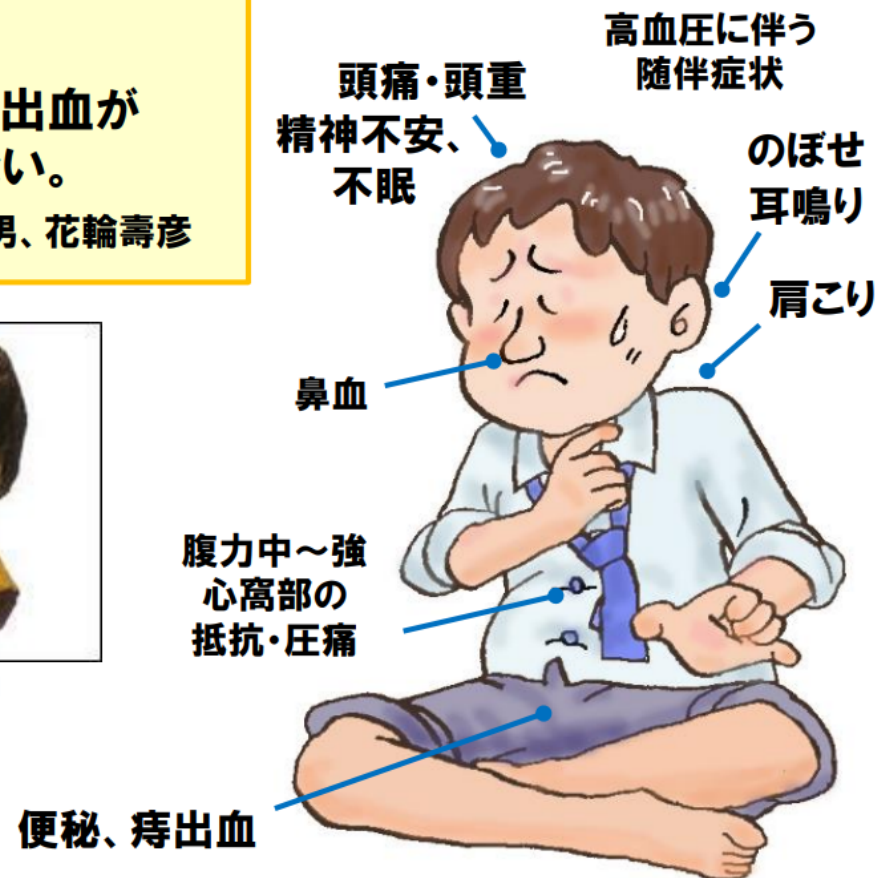
【オウゴン】



【オウレン】



【ダイオウ】



三黄瀉心湯 処方のポイント

- **およそ出血または精神症状を抑える目的で利用される**
- **急性の症状（出血、頭痛など）を抑えるために用いる処方なので、長期には使わない**
- **頓服で用いることが多い**
- **顆粒剤などは冷水で服用する方がよい**

黄連解毒湯と三黄瀉心湯

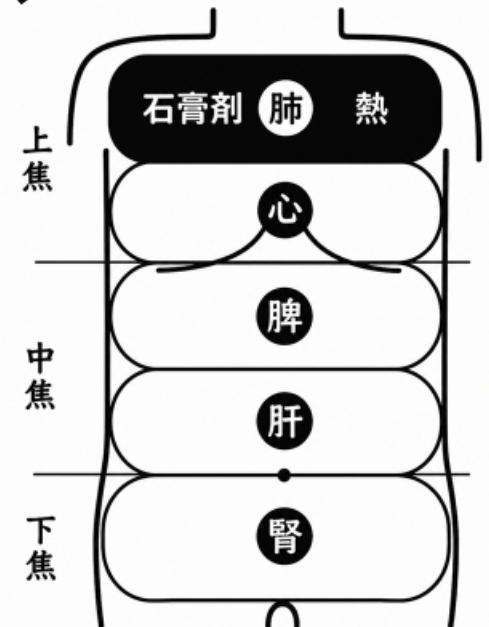
- **黄連解毒湯は利尿効果に秀れ、三黄瀉心湯は瀉下効果により熱邪を排泄する**

（漢方常用処方解説より）

清熱剤：その③

白虎加人参湯について

（石膏＋知母）



五臓の熱と適応処方群

白虎加人参湯 名称の由来

白虎加人参湯は白虎湯に人参を加えた処方

白虎湯は、主薬である石膏の色の白をもって、
中国の神話に出てくる四神の1つで
西方を守護する白虎の名が与えられた。



東:「青龍」→麻黄(青)…小青竜湯

西:「白虎」→石膏(白)…白虎湯

南:「朱雀」→大棗(赤)…十棗湯

北:「玄武」→附子(黒)…玄武湯

乾いた風が吹きつける西方砂漠帯の気候と、
身体の灼熱感を鎮め、渴きを潤す
白虎加人参湯の性格がよく合致している名前です。

ビャッコカニンジントウ
白虎加人參湯の構成生薬



石膏(セッコウ)



知母(チモ)



甘草(カンゾウ)



人參(ニンジン)



粳米(コウベイ)

白虎加人参湯の構成生薬

【構成生薬】

知母・石膏・人参・粳米・甘草

石膏
知母

……消炎解熱作用、高熱を冷ます

知母
粳米
人参
甘草

……滋潤により体内の水分を保持する



ビヤツ コ カ ニン ジン トウ
ツムラ白虎加人参湯
エキス顆粒(医療用) (薬価基準収載)

2014年10月改訂

〔TJ-34〕

出典:傷寒論、金匱要略

組 成

本品9.0g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

日局セツコウ		15.0g
日局コウベイ		8.0g
日局チモ		5.0g
日局カンゾウ		2.0g
日局ニンジン		1.5g

用法及び用量

通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

効能又は効果

のどの渇きとほてりのあるもの

使用上の注意(抜粋)

重大な副作用

- 1)偽アルドステロン症
- 2)ミオパチー

*その他の使用上の注意等は最新の添付文書をご覧ください。



ビヤツ コ カ ニン ジン トウ

ツムラ白虎加人参湯

エキス顆粒(医療用) (薬価基準収載)

TJ-34
2014年10月改訂

使用上の注意

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1)胃腸の虚弱な患者〔口中不快感、食欲不振、胃部不快感、軟便、下痢等があらわれることがある。〕
(2)著しく体力の衰えている患者〔副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。〕

石膏

2. 重要な基本的注意

- (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
(2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
(3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

3. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1)カンゾウ含有製剤 (2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。 (「重大な副作用」の項参照)	グリチルリチン酸は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

薬効薬理

1. 唾液分泌に対する作用(マウス)¹⁾
2. 作用機序
アクアポリンに対する作用(マウス)²⁾

【主要文献】

- 1)坂井丈治ほか. 日本歯科東洋医学会誌. 2008, 27(1), p.9.
- 2)Aburada, T. et al. Phytother Res. 2011, 25(6), p.897.

※効能又は効果、用法及び用量、使用上の注意等は製品添付文書をご覧ください。

急性熱性疾患の経過

熱が出る時期（陽病期） 元気がなくなる時期（陰病期）

寒けや
頭痛

かぜの
ひきはじめ

葛根湯
など

太陽病

食欲が
なくなる

こじれた
かぜ

小柴胡湯
など

少陽病

高熱が
出る

悪性の
インフル
エンザ

白虎加人參湯
など

陽明病

下痢して
体が
冷える

消化器の
働きが低下

太陰病

すぐ疲れ
横になり
たがる

ぐったり
した状態

少陰病

重篤な
状態

肺炎など
の重篤な
疾患

厥陰病

白虎加人参湯 処方のポイント

- ・ 熱による神経の興奮抑制や、糖尿病、抗精神病薬の副作用にみられる口渴などにも応用される
- ・ 合方される場合も多く、例えば皮膚疾患には黄連解毒湯などが合方されることがある

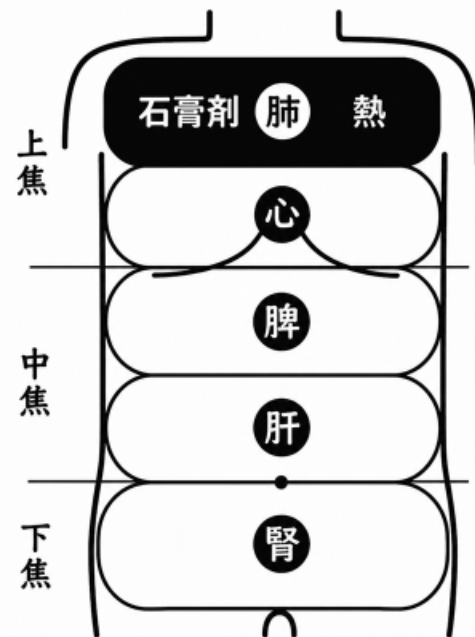
白虎加人参湯 処方のポイント

- ・石膏・知母はともに清熱作用があるが、同時に滋潤させる作用もあり、水の生成を助けている
- ・粳米には清熱薬（石膏など）が胃の働きに悪影響を与えないように、胃を保護する働きもあると考えられる

清熱剤：その④

越婢加朮湯について

（石膏＋麻黄）



五臓の熱と適応処方群

「越婢加朮湯」名称の由来

本方は、越^{エツピ}婢^{トウ}湯に生薬の朮^{ジュツ}を加味した処方であるため、それを処方名としたものである。

越^{エツピ}婢の意味については、定説はなく、婢は痺の誤字で、痺(麻痺)を発越(発散)させるという説等がある。

越婢加朮湯

蒼朮

体表の湿を除き
浮腫と関節痛を治す

石膏

麻黄

筋肉や関節の清熱・鎮痛、自汗あり

大棗

生姜

甘草

越婢湯



エッピカジュツトウ 越婢加朮湯の構成生薬



石膏(セッコウ)



麻黄(マオウ)



蒼朮(ソウジュツ)



大棗(タイソウ)



甘草(カンゾウ)



生姜(ショウキョウ)

越婢加朮湯の構成生薬

【構成生薬】

麻黄・石膏・蒼朮・甘草・生姜・大棗

麻黄
石膏

……清熱利水作用
石膏で清熱し麻黄で利水する

麻黄
朮

……利水作用

大棗
生姜
甘草

……健胃作用



エッ ピ カ ジュツ トウ

ツムラ越婢加朮湯

エキス顆粒 (医療用)

薬価基準収載

2010年10月改訂

〔TJ-28〕

出典：金匱要略

組 成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.25gを含有する。

日局セッコウ 8.0g
日局マオウ..... 6.0g
日局ソウジュツ 4.0g
日局タイソウ 3.0g
日局カンゾウ 2.0g
日局ショウキョウ... 1.0g

用法及び用量

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

効能又は効果

浮腫と汗が出て小便不利のあるものの次の諸症：
腎炎、ネフローゼ、脚気、
関節リウマチ、夜尿症、湿疹

使用上の注意(抜粋)

重大な副作用

- 1) 偽アルドステロン症
- 2) ミオパチー

*その他の使用上の注意等は最新の添付文書をご覧ください。



エッ ピ カ ジュツ トウ

ツムラ越婢加朮湯

エキス顆粒(医療用)

(薬価基準収載)

TJ-28

2010年10月改訂

使用上の注意

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

(1) 病後の衰弱期、著しく体力の衰えている患者

〔副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。〕

石膏

(2) 胃腸の虚弱な患者〔食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、軟便、下痢等があらわれることがある。〕

(3) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者〔これらの症状が悪化するおそれがある。〕

麻黄

(4) 発汗傾向の著しい患者〔発汗過多、全身脱力感等があらわれるおそれがある。〕

(5) 狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者

(6) 重症高血圧症の患者

(7) 高度の腎障害のある患者

(8) 排尿障害のある患者

(9) 甲状腺機能亢進症の患者

麻黄

〔(5)～(9):これらの疾患及び症状が悪化するおそれがある。〕

2. 重要な基本的注意

(1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。

(2) 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。

(3) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。



エッ ピ カ ジュツ トウ

ツムラ越婢加朮湯

エキス顆粒(医療用)

(薬価基準収載)

TJ-28

2010年10月改訂

使用上の注意

3. 相互作用
併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1) <u>マオウ含有製剤</u> (2) エフェリン類含有製剤 (3) モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤 (4) 甲状腺製剤 チロキシン リオチロニン (5) カテコールアミン製剤 アドレナリン イソプレナリン (6) キサンチン系製剤 テオフィリン ジプロフィリン	<u>不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等</u> があらわれやすくなるので、減量するなど慎重に投与すること。	<u>交感神経刺激作用</u> が増強されることが考えられる。
(1) カンゾウ含有製剤 (2) グリチルリチン酸及びその塩類を含む製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。 (「重大な副作用」の項参照)	グリチルリチン酸は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。



エッ ピ カ ジュツ トウ
ツムラ越婢加朮湯
エキス顆粒(医療用) (薬価基準収載)

TJ-28
2007年9月改訂

薬効薬理

皮膚炎に対する作用(マウス)¹⁾

【主要文献】

1)夏秋 優ほか. 皮膚科における漢方治療の現況8. 医学書院, 1997, p.27.

※効能又は効果、用法及び用量、使用上の注意等は製品添付文書をご覧ください。

越婢加朮湯の使用目標

比較的体力のある人で、浮腫、発汗傾向、口渴があり、尿量減少する場合に用いる。

1) 四肢関節の腫脹、疼痛、熱感などのある場合。

監修:大塚恭男、花輪壽彦



〔セツコウ〕



〔マオウ〕



〔ソウジュツ〕



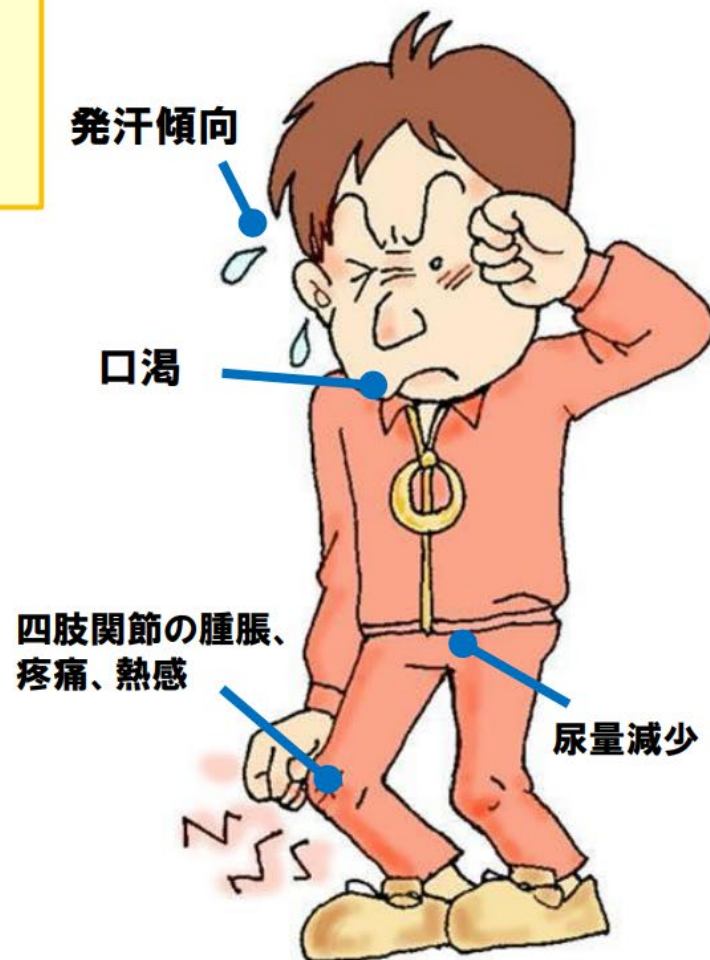
〔タイソウ〕



〔カンソウ〕



〔ショウキョウ〕



越婢加朮湯 処方のポイント

- ・ 浮腫、腫脹と炎症の訴えが中心となる場合が多く、アレルギーの発作にもよく使われる**
- ・ 服用すると尿量が増える場合がある（からだの余分な水を尿として排泄している）**
- ・ 麻黄のため胃の不快感、不眠、心悸亢進などの副作用がみられることがあるので、その時は医師に相談する**

清熱剤による熱証治療のまとめ

- 清熱剤による熱証治療は、冷やす（ひやす）のではなく清ます（さます）ことが大切。
- そのためには、清熱剤の適切な量や服用期間、服用時期が大事になる。
- 「不老長寿を願って10年間もオウレンを常用していたある僧侶が、顔色もなくガタガタになって私の所を訪ねてきて、茯苓四逆湯で回復するまで1年余りを要した経験がある。」（「傷寒論の謎 二味の薬徴」より）

気・血・水、寒・熱の基本方剤まとめ

①漢方薬の処方構造を理解する際は、気・血・水、寒・熱の基本方剤(**処方骨格**)から構成生薬を理解する。

②漢方薬の構成生薬を理解する際は、生薬単味(一味)の薬能だけでなくユニット(**二味**)単位で理解する。

基本病態に対する8方剤と構成生薬

基本病態	基本方剤	構成生薬
気虚	四君子湯	人参、白朮、茯苓、甘草
気逆	苓桂朮甘湯	茯苓、桂枝、白朮、甘草
気鬱	半夏厚朴湯	半夏、厚朴、生姜、茯苓、蘇葉
瘀血	桂枝茯苓丸	桂枝、茯苓、牡丹皮、桃仁、芍薬
血虚	四物湯	地黄、当帰、芍薬、川芎
水湿 (水滯)	五苓散	白朮、茯苓、沢瀉、猪苓、(桂枝)
裏寒 寒	人参湯	人参、乾姜、甘草、白朮
実熱 熱	黄連解毒湯	黄連、黄芩、黄柏、山梔子

気・血・水、寒・熱の基本方剤まとめ

①漢方薬の処方構造を理解する際は、気・血・水、寒・熱の基本方剤(処方骨格)から構成生薬を理解する。

例)気虚の基本方剤:四君子湯

- ・四君子湯＋陳皮・半夏→六君子湯
- ・四君子湯＋四物湯(血虚の基本方剤)
→十全大補湯

気・血・水、寒・熱の基本方剤まとめ

②漢方薬の構成生薬を理解する際は、生薬単味(一味)の薬能だけでなくユニット(二味)単位で薬能を理解する。

例)清熱の基本方剤:黄連解毒湯

- ・黄連＋黄芩:抗炎症作用
- ・黄連＋山梔子:鎮静作用、止血作用

参考書籍:「漢方294処方生薬解説」
「傷寒論の謎 二味の薬徴」



植物と人間との関わりは人類の起源にまで遡るものです。古来、人々は衣・食・住のすべての生活の場で植物を活用してきました。しかし、近代化とともに人工物が生活の場にあふれるようになり、植物への依存は徐々に薄れてきました。私達の生活は植物の多様性という恩恵から遠ざかりつつあるといえます。

本講座では、漢方・生薬で使われる植物のこを知り、「温故知新」の精神を大切に、健康な暮らしを手にするための学びの場を提供します。

漢方・生薬「温故知新」講座

～身近な野草・薬草を学ぶ～

ベーシックコース (全4回)

9/20(日) 9/26(土) 10/12(日) 11/21(土)

13:00～17:00 受講料: 8,700円(税込)

アドバンスコース (全3回)

12/5(土) 12/19(土) 1/23(土)

13:00～17:00 受講料: 7,700円(税込)

受講方法 対面かオンラインお好きな形態でご受講いただけます。後日講義録画の配信も受講生限定でご視聴いただけます。

会場 熊本大学大江キャンパス(薬学部)内 宮本記念館(熊本市中心区大江本町5番1号)

申込方法 チラシ記載の2次元コードからHPにアクセスしお申込ください。お電話やメールでもお申込いただけます。

申込 **ベーシック** 7/31 **アドバンス** 10/14

講座内容詳細については次頁をご覧ください。



▼お申込・お問い合わせ先

熊本大学 地域中核事業課 公開講座担当

☎096-342-3144 (平日9時～16時)

✉manabou@jimui.kumamoto-u.ac.jp

公開講座 熊本大学

検索



令和8年度 漢方・生薬「温故知新」講座

～身近な野草・薬草を学ぶ～

ベーシックコース

9/20(日)	熊本市西区花畑地区の花畑園について 自然の恵みへの感謝と食の安心・安全・健康づくりと 人材育成について	熊本大学薬学部 客員教授 渡邊 高志 株式会社協方エッグファーム 代表取締役 磯方 亮也
9/26(土)	身近な有用・薬用植物の学び 食の機能と健康	熊本大学大学院薬学教育 薬用植物学分野 准教授 杉村 康司 佐賀大学農学部 教授 永野 孝生
10/12(日)	身近に役立つ漢方・生薬を漢方の視点で考える～ ヒマラヤ植物調査の歴史と東京大学植物園本室(TO)について	はやし病院 薬師(漢方認定薬剤師) 講師 杉村 亮也 西日本植物研究所 所長 田中 博 (元東京大学総合研究博物館 准教授)
11/21(土)	薬漢植物としての薬用の植物園 岡山県産の山山・植物園生に育つ薬草植物の育生と 自給に向けた取り組み	カネリョウ薬業株式会社 専任研究員 沢島 昌樹 一良 環境カウンセラー 松原 徹郎

アドバンスコース

12/5(土)	食生活は薬。身近な薬草や食材で身体を調える方法・薬しむ文化 ヤマイモ(ヤマノイモ科の食用薯)の食文化と利用について	正食ウェルネススクール講師 客員教授 龍崎 佳世 東京農業大学動物生産学研究室准教授 志和地 弘樹
12/19(土)	18年度の薬草普及活動と研究の紹介(講演・セミナー) 現代医療と植物の漢方	熊本大学薬学部 客員教授 渡邊 高志 熊本赤十字病院総合内科部長 内山 繁之
1/23(土)	漢方に於けるセルフメディケーション(2) 知って得る漢方薬とその原料植物の可能性	熊本大学大学院薬学教育 薬用植物学分野 准教授 杉村 康司 名古屋大学大学院薬学研究科生薬学分野 松野 利明

過去に参加した同タイトルの講座と、同じ講師・講義録画の配信もご用意していますが、全く同じ内容ではございませんので、前回は受講しなかった方も新たな学びを期待いただけます。

◆Zoomでの同時配信も行いますので、オンライン受講も可能です。また、Zoom配信の録画は、後日YouTubeにて配信(限定アーカイブ配信)も行いますので、当日受講出来ない時も安心です。ただし、録画のトラブル等で配信が予定通りにならない場合は、音声のみのアーカイブ配信となりますので、予めご了承ください。

◆自然災害等不測の事態で当日休講となった時は、後日講義録画の配信に代えていただく場合もございます。ご了承ください。

◆講義資料(紙媒体)の印刷・配布は予定しておりません。必要な講義資料はデータでご提供いたしますので、お申し込みの際は必ずメールアドレスをご登録ください。

◆最低参加人数に達しない場合は、開講を取りやめる場合もございます。

◆会場キャンセル内にて参加いただく事は出来ません。お車での会場は近隣の有料駐車場にお停めいただくか、公共交通機関のご利用をお願いします。

① お申込

チラシ記載の2次元コードよりHPにアクセスし、申込みフォームから、または、メールでも可能です。

② 開講通知及び受講料込みの案内メール受領

申込み受付開始にご案内します。メールをお待ちください。申込み受付開始後、開講中止となる場合はメールでお知らせいたします。

③ 金銭情報、又は本学要入立にて、受講料納入

お申し込み後、②の案内に添付のQRコードで受講料をください。

④ 開講日に会場もしくはZoomにて開講

当日開講はご用意します。お申し込み後、お申し込み確認メールが送付されます。Zoom開講は事前にZoomの参加リンクをメールにてお知らせいたします。

▼お申込・お問い合わせ先

熊本大学 地域中核事業課 公開講座担当

☎096-342-3144 (平日9時～16時)

✉manabou@jimui.kumamoto-u.ac.jp

公開講座 熊本大学

検索



▼お申込・お問い合わせ先

熊本大学 地域中核事業課 公開講座担当

☎096-342-3144 (平日9時～16時)

✉manabou@jimui.kumamoto-u.ac.jp

公開講座 熊本大学

検索



←申し込み用QRコード

50th ANNIV[☆]
Hayashi Healthcare Group
1976 ~ 2026

8/11 祝日
会場 はやし病院
時間 10:00~14:00

浴衣や甚平の来場は
何倍も楽しいよー

盆踊りは
11時から

人気のキッチンカー
大集合!!

はやしのマルシェ

- ・BARON ・小麦の奴隷 ・鶏とレモン
- ・木漏れ日 ・越後屋 ・ふるさと学園
- ・HANANOKI FARM

！個人出店！
りんちゃんグッズ販売！
・アイショップ：ハンドメイド雑貨
・はやし農園：野菜

体験コーナー

あなたにもできる！
救命体験！
いざ！という時に知っておいた方がよい知識や実践♪

りんちゃんお面づくり
作業療法士と一緒に簡単に楽しく作れる！
盆踊りでかぶって踊りまじよう♪

第2回キッズ
はやし病院模型倶楽部【超公式】
まつり

大好評のミニ四駆イベント第2弾!! 自分のマシンを持ち込んでコースを走らせてもよし、マシンが無くて大丈夫です♪

牛乳パック灯籠
大募集!

8月7日(金)までに
当院へお持ちください!

家にある牛乳パックで灯籠を作って、お祭り会場に飾りませんか? 自分の物が分かるように名前を書いてもらってもOKですよ。返却は出来ませんので、ご了承ください。

作り方動画

お問い合わせ
はやし病院 経営企画室(花田・笠木)
TEL: 099-257-6969 ※平日17:00まで

Follow Me!

はやし病院
公式SNS

お知らせやイベント情報などを発信します♪

Facebook

「はやしのこばなし」
「はやしのごはん」
広報誌・イベント情報
などを定期的に発信♪

x (旧Twitter)

はやし病院模型倶楽部【超公式】

個性的な「中の人」が、
プラモデル・ミニ四
駆などのニアックな
こと9割、病院に関
わる真面目なこと
1割を(ほぼ)毎日
つぶやく。

LINE

医師休診のお知らせ
「はやしのこばなし」
「はやしのごはん」
広報誌・イベント情報
などを定期的に発信♪

Instagram

季節の行事風景
リハビリ作品...etc
病院の日常や普段見るこ
とが出来ない職員達の裏の
顔などを写真や動画で
面白く、楽しく発信♪

広報委員会